

5人、3月4日が2人を予定しております。

一般質問の質問時間は、答弁を除き、1人30分であります。所定の時間内に終わるよう質問・答弁とも簡潔に要領よくお願いいたします。

また、質問は通告書の範囲内にとどめるよう、通告外にならないようご協力をお願いいたします。通告順に発言を許します。

中村 実議員。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。〔15番 中村 実君登壇〕

○15番（中村 実君）

おはようございます。創生クラブの中村です。

一般質問に入ります前に、今ほど市長から報告がありました島道鉦泉近隣の雪崩により、お亡くなりになりました能登匡史さんにお悔やみ申し上げ、一般質問を行います。

まず最初に、北朝鮮拉致問題への糸魚川市の取組について伺います。

1970年から1980年にかけて、多くの日本人が行方不明となり、その後北朝鮮工作員の証言で北朝鮮による拉致であることが証明され、2002年に行われた第1回日朝首脳会談において北朝鮮はようやく拉致を認め、謝罪を行い、同年10月に5人の拉致被害者が24年ぶりに帰国を果たすことができました。

その後、国では第2回日朝首脳会談を行うも進展が見られず、家族会でも1,400万筆以上の署名を集め、国に働きかけていますが、いまだに成果が見られません。糸魚川市でも旧青海町の藤田 進さんが特定失踪者として登録されていますが、まだ認定がされていません。今後、藤田 進さんの拉致認定と拉致被害者全員の早期帰国に向け、署名活動やパネル展、小中学校でのDVD教育などを通じ、この忌まわしい出来事を忘れることがないようにいろいろな取組を進めていく必要があると思いますが、市の考えを伺います。

- (1) パネル展や署名活動はどうなっていますか。
- (2) 小中学校でのDVD教育は行っていますか。
- (3) 特定失踪者問題調査会と市の連携はありますか。

次に、糸魚川市新エネルギービジョンの進捗状況について伺います。

旧糸魚川市では合併前の平成15年3月に「糸魚川市新エネルギービジョン」を策定し、旧能生町では翌年の16年3月に「能生町新エネルギービジョン」を策定し、これらの計画に沿って、旧能生町では風力発電2基、旧糸魚川市では小規模な太陽光発電を整備してきました。その後には地熱発電や水力発電調査に取り組むなど、やっと民間企業の動きが見えてきました。今後は民間との協働による糸魚川市内の地形に合った自然エネルギー開発を進めるべきと思いますが、以下の点について伺います。

- (1) 「第1次糸魚川市新エネルギービジョン」の成果は何ですか。
- (2) 「第2次糸魚川市新エネルギービジョン」に向けての取組は何ですか。
- (3) 民間企業参入の予定と支援制度はありますか。
- (4) 糸魚川市内で開発できるクリーンエネルギーは何がありますか。

以上で、1回目の質問を終わります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

中村議員のご質問にお答えいたします。

1番目の1点目につきましては、元年度にパネル展を開催いたしておりますが、署名活動は行っておりません。

2点目につきましては、小・中学校では、道徳や社会科の授業で取り扱い、DVDや書籍などの教材を活用し、学習を進めております。

3点目につきましては、特定失踪者問題調査会との連携はありませんが、市町村長の会を通じ、国に要望いたしております。

2番目の1点目につきましては、当市における新エネルギーの可能性調査を実施し、得た情報を公開することで民間事業者の参入の促進につなげるとともに、太陽光発電やペレットボイラー等の導入を促進できたものと考えております。

2点目につきましては、6つのプロジェクトを掲げており、豊かな水資源を活用した中小水力発電の誘致やエネルギーの地産地消を目指した自治体新電力事業を推進してまいります。

3点目につきましては、複数の事業者が中小水力発電の現地調査や事業化に向けて取り組んでおり、各種手続の調整、情報提供などを行っております。

4点目につきましては、豊富な水資源を生かした水力発電や太陽光発電、間伐材などを利用したバイオマス発電などと考えております。

以上、ご質問にお答えいたしました。再度のご質問によりましては所管の部・課長からの答弁もありますので、よろしくお願いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

拉致問題について、2回目の質問に入ります。

私は、平成24年9月議会で拉致問題について一般質問を1回行っております。そのときは、北朝鮮が初めて拉致を認めてから10年を迎えたということの節目で一般質問を行いました。今回は2回目ですが、今回は、家族会と救う会、そして拉致議連の主催で、全国拉致被害者の即時一括帰国を求める国民大集会が今年の11月に開催され、岸田総理大臣が挨拶の中で、拉致被害者のご家族が、ご高齢になられたことから、自らが先頭に立ち、政府を挙げて必ず拉致問題を解決すると強い意志を示されました。

また、今回、立憲民主党の泉代表が、2月6日に横田めぐみさんが拉致された現場を訪れ、与野党を越え、様々な情報を集め、拉致解決に取り組みたいと、やっと野党も動き出したところであります。

また、アメリカ大使館で北朝鮮を担当する書記官も、初めて柏崎市を訪れ、蓮池 薫さんと会談

いたしました。蓮池さんは、アメリカが本気で日本を支援しようとしていると感じたそうです。

今後、衆参両議院の拉致問題等に関する特別委員会の議論も進んでいくものと思っておりますが、この機会を捉えて、糸魚川市でも声を上げていく時と思っておりますが、市長の考えがあれば、お聞きしたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

おはようございます。

お答えいたします。

先ほど市長答弁の中でもございましたとおり、現在、県下30市町村長の会として、北朝鮮による拉致問題に関する新潟県市町村長の会というものが、立ち上がっております。こちらの一員として、糸魚川市としては積極的に関わっていきたいということでもあります。

本年2月に、国、総理大臣、また松野内閣官房長官宛てに、そういった要望書のほうも提出しており、今後もそういった会と連携しながら、しっかりと対応していきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

市長にちょっとお伺いしたいんですが、旧青海町で拉致されたという藤田 進さんですが、市長と糸魚川高校の同級生か、1年後輩ぐらいになるかと思うんですが、市長は当時のことをご存じですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

本当に残念ながら、当時そのような、私、記憶がございません。本当に、私より1つ先輩に当たる方と思っております。後年にそういった情報を頂いたときに、同級生からそのようなことがあったという情報を頂いて、身近にあったんだというのをそのときにやっと認識した程度でございまして、やはりその当時、やっぱり行政区が離れてると、そういった情報というのは少し疎いところがあったのかなと感じておる次第でございまして。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

1年先輩だということで、昭和23年3月25日生まれだということなんですよね。糸魚川高校

1年のときに、昭和43年3月、猛吹雪の夕方に拉致されたというふうに言われております。

藤田さんのように、拉致された疑いが濃厚であるにもかかわらず、政府が認定してない特定失踪者、多くおられます。その中の1人が藤田さんであります。藤田さんも特定失踪者ではなくて、一日でも早く拉致被害者に認定していただくことによって、早期帰国につながっていくというふうには思っております。既に両親は、もうお亡くなりになったということですが、まだご兄弟が健在だとお聞きしておりますので、ご兄弟が、まだ元気なうちに、ぜひ情報、できれば帰国を果たせればなというふうに思っておりますので、糸魚川市としても認定に向けて、全面的にバックアップしていく必要があると思うんですが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

米田市長。〔市長 米田 徹君登壇〕

○市長（米田 徹君）

お答えいたします。

先ほど課長がお答えいたしましたように、市町村長の会議に入らせていただいて、その後、積極的に取り組んでいきたいと思っております。そのようなことから、私も、その会の役員にもさせていただいて、取り組んでいる状況でございますので、ここへ来て、やはりその事柄を風化させないように我々はしっかりと情報発信をしながら、また、それをしっかりとまた要求していけるような環境をつくっていききたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

新潟県市町村長の会に入られて、役員やられてるということで、ぜひ糸魚川市から大きな声を上げていただければなというふうには思っております。また後、後ほど違う会の話も出てきますが。

なぜ特定失踪者でなくて、拉致認定を急ぐかという、政府が藤田さんを拉致と認めない限り、日朝首脳会談のテーブルに上げることができないんですよね。拉致の可能性が非常に高い藤田さんのご家族のためにも、今すぐできることは、やはりもう少し署名活動、先ほどパネル展はやったけど、署名活動はやってないという答弁がありましたけど、やはり署名活動を一生懸命進めることも一つの方法だと思います。

前のパネル展というのは、どこでやられたのか、さっき話があった1回だけなのかどうかお聞きします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

パネル展につきましては、新潟県が平成19年度から実施していて、そちらに糸魚川市として開催ときに手を挙げてやってるというものであります。これまでは、平成20年度、24年度、30年度、そして先ほど市長答弁ありましたように令和元年度ということで、4回開催しております。

す。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

4回開催されてるということですけど、そのときには署名活動は行われていないということなんですよね。4回は、多いか少ないかということは置いて、今後できれば、青海、糸魚川、能生というふうに順番でやっていくということも必要になってくるかなというふうに思っています。できれば、糸魚川4回やったのは、多分この1階ロビーかなんかだというふうに思ってるんですけど、できれば今後、若者が集まるキターレ、そういうところでの展示は、可能なんじゃないかな。要は、こういうところじゃなきゃ駄目だというのは、縛りがなければキターレでやって、若い人たちにも興味を持ってもらうことが大切だと思うんですが、その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

キターレなどの会場での開催は、可能というふうに考えております。

ただ、私どものほうでは、せっかくのパネル展を開催するとしたときに、映画上映だとか、そういったものも今できないかということで検討しております。そういった私どものやろうとしている内容に応じて、また会場を、キターレも含めて検討を進めてまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

ぜひ映画とかいろいろなものを合わせながら、やっていただければありがたいなというふうに思いますし。

署名集めも大変なようなんです。10年前に家族会と救う会で、都道府県知事や各都道府県の議員に対して1,000万人の署名集めをお願いしました。糸魚川地域振興局でも署名用紙を置いて、署名活動を行ったわけです。

私、一般質問した後に、ここで署名活動もしたような記憶はあるんですけど、署名活動してなかったですかね。ぜひ署名活動を進めていただきたいというふうに思ってます。署名も今年度で1,600万筆近く集まってるということです。

ただ、ある程度の年配者の方の署名が大変多いようなので、市民の中には、拉致問題も忘れてしまったり、青海の藤田 進さんが、特定失踪者だということも知らない人が随分多くなってきているように思っています。ぜひ数多くパネル展、署名活動、行っていただきたいと思っておりますし、小中学校のDVD教育も、今後進めていく必要があるというふうに思うんですが、先ほどの答弁の中で、学習を進めているというような答弁がありました。どれぐらいの頻度で行われていたのか、副市

長、元教育長だったんで、副市長、その辺は分かりますかね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

井川副市長。〔副市長 井川賢一君登壇〕

○副市長（井川賢一君）

おはようございます。

お答えいたします。

私、合併直前の平成16年度に、拉致被害者ですとか特定失踪者の担当をさせていただいておりました。そういったことから、経過については把握しているつもりでございます。それから17年経過して、いまだ解決に至ってないということは、本当に残念なことだというふうに思いますので、改めて市民の皆さんに周知、あるいは解決する取組が必要だと思っております。

また、今ほどアニメの話がありました。各学校では、活用してるというふうに聞いておりますので、今後とも教育委員会を通じて活用するよう、働きかけていきたいと思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

アニメ「めぐみ」ですよ。DVDは、大体25分ぐらいの時間で終わらして、当時の小さいときのめぐみさんの写真が織り込まれて、大変分かりやすく、子供にも大変分かりやすい、よいビデオだというふうに私も思うんですよ。その中に先生の、担任の先生の話も交えながら、学校教育に使っていただきたいたいというふうに私は思ってます。

今、ビデオはやってきたという話があったんですけど、どれぐらいの頻度でやられてきたのか。これからは、例えば2年生にビデオを見せるとしたら、翌年は3年になって、もういなくなるわけですね。だから必ず2年生のときにやるんだとか、3年生にやるんだとかということにして、毎年やっていくという方法がいいと思うんですが、教育長どうですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

拉致問題は、大変重要な人権課題でありますので、小さいうちから事例について学びながら、その問題について考えるという機会が大変大事です。今ほど中村議員がご指摘のように、子供たちの発達段階に応じて、分かりやすいDVD、そこら辺りを主張しながら、やっぱりその発達段階に応じた形で、その事実を、事象を受け止めて、しっかりと人権に意識を深めていくということが、大変大事だろうと思っております。各学校では、今現在、年間指導計画の中に位置づけて、積極的にその活用を今進めています。

そんなことで、今回さらに活用を深めるように小学校、中学校、そして発達段階に応じた形で、どこにそれを位置づけて、子供たちと一緒に学習するのか、そこら辺りを明確にした形で進めるよ

うに、教育委員会としても働きかけを進めていきたいというふうに考えております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

これからぜひ、数多くいろんな時間を捉えて教育に使っていただいて、子供のときから忘れないように、糸魚川市に青海町にこういう人がいるんだということすら分からない状況だと思うんですね。

ただ、教育する場合、これは北朝鮮の全員の国民の人たちのあれじゃなくて、北朝鮮当局が、起こした事件なんですよ。だから、北朝鮮の人が、この糸魚川にいるかどうか分かりませんが、もしそういう人たちがいたら、そういう人たちのいじめにつながるような、そういう教育の仕方というのはしていかなきゃいけないと思います。ただ北朝鮮が悪いんだとか、そういうことじゃなくて、そういうことを教えなきゃいけないんですが、今の教育者が、もう若返ってきましたよね。その教育者が、拉致を知らない人もいるかと思うんですよ。やっぱりそういう先生たちにも、この拉致のことをよく勉強して、教える人がよく勉強して、そういう教育をしていく必要があると思うんですが、その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

靄本教育長。〔教育長 靄本修一君登壇〕

○教育長（靄本修一君）

お答えいたします。

新潟県内でも各専門学校、あるいは大学等で特別にゼミを開いて、拉致問題について、直接の体験をされた方を中心にしながら話を聞いたり、あるいはビデオを鑑賞したり、資料で学ぶというふうな経過が、あちこちで取り組まれています。子供たちの前に立つ教員の研修の中にも、特に教育学部の講座の中には、特に夏休みとか冬休み等にそういうふうな講座も開かれてるやに私も情報を得ています。そこら辺りを確認しながら、糸魚川市に来る、新しく来られる先生方にも、その点にも触れながら、やっぱり大事に教育の中で生かしていこうというふうな働きかけは、今後一層力を入れていきたいというふうに思っております。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

ぜひ先生自ら、その拉致問題を理解しないといい教育にならないと思いますので、しっかり理解した上でDVD教育を進めていっていただきたいというふうに思っております。

また、このDVDとは別なんですけど、中高生の中で北朝鮮人権侵害問題啓発週間作文コンクールというのがあるわけですが、これ毎年開催されているんですよ。この作文コンクールの中に、糸

魚川市として、糸魚川市としてじゃないな、子供たちが参加したことがあるのかどうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

お答えいたします。

過去数年、ちょっと聞いてみたんですけども、そのコンクールについて応募したというふうな実績みたいなものを私は把握することができませんでした。かなり前に応募があったのかもしれませんが。そこら辺りの詳細については、ちょっと今現在そのような状況ですので、お伝えいたします。以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

作文コンクール2020という、これを見ますと、最優秀賞から特別賞まで6名の方の名前が載ってるんですよ。これは毎年開催されてるということで、ぜひこういうものに、中学生、高校生、英語のエッセイ部門というのもあるんです。だから、英語は高等学校ですけどね。こういうものにぜひ参加していただきたいというふうに、私は思ってるんです。

このコンクールは、また来年、次いつ応募があるのか分かりませんが、できればアニメを見た後に、すぐに作文を書いていただいて、こういうところに応募していくというのも一つの方法かと思うんですけど、その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

蘆本教育長。〔教育長 蘆本修一君登壇〕

○教育長（蘆本修一君）

お答えいたします。

ビデオ視聴をし、それで学級でみんなと一緒に学び、その成果を作文にまとめてというふうなステップだと思います。中学校、高校生が対象だというふうにもお聞きしましたので、特に中学校については、そこら辺りの関連を持たせて、生徒に拉致問題への認識を深め、そして関心をさらに高める中で、自分はどう捉えたのかというふうな自分の考えを作文にまとめていくということは、とても大事な教育の場面だというふうに思っています。中学校に向けて、積極的に働きかけをしていきたいというふうに思っています。

以上です。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

ぜひ関連づけて、忘れないうちに作文に取り組むというのもいいことだと思います。ぜひやって

みてください。

それから、前回の一般質問のときに、藤田 進さんの特定失踪者がおられるので、拉致問題に関する地方自治体ネットワークに糸魚川市も加盟したらどうかというふうに私質問したんですよ。あのときは、総務課が担当で、総務課長が答えられたんですが、その後、加盟するかどうか研究をするというだけだったんですよ。今聞いたら、新潟県の市町村長会のほうに加盟されてるというふうに言われていましたが。

このネットワークは、地方自治体が拉致問題に関する情報交換を行う場なんですよ。緊密な連携を図りながら、拉致問題が早期に解決される。そういう組織であります。新潟県内では、新潟市と柏崎市、そして佐渡市が加盟しております。糸魚川市も藤田さんがいることから、この組織に入って、情報交換することも、私はまた必要だというふうに思ってるんですよ。市長の答弁だと、1つ入ってるからいいんだ、1つ入ってますということでしたが、これダブって入ることというのはできないんですかね。調べてみて、糸魚川市で入るべきところかどうかというのもありますからね。もう少し緊密に、これは随時募集してるんですよ。だから、拉致被害者がいるからとかじゃなくて、特定失踪者であっても加入できるということなので、ぜひ情報交換するにはいいかなというふうに思うんですが、その辺いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

ネットワークにつきましては、重複しても何の問題もないというふうに考えております。

その情報交換という内容につきましては、こちらの団体につきましては、新潟県のほうで事務局を持っているというところもありますので、そういった活動内容も、またもう少し調べさせていただきまして、併せて少し前向きに加入についても、また検討してまいりたいというふうに思っております。よろしくをお願いします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

新潟県市町村長の会も悪いとは思いませんけど、実際に拉致被害者がいる会に入ることによって、藤田さんを拉致被害者に早く進めるという方向にも進むんじゃないかなというふうに思いますので、そういうところからの情報も必要になってくるのではないかなというふうに思っております。いろんな組織が、たくさん組織があるんですよ。糸魚川市に合った組織に加入していただいて、拉致を忘れないように努めていっていただきたいなというふうに思っております。

どうしても、拉致はやっぱり一人一人声を上げていくということが大切なことだというふうに思っております。そういったことで、最近、ブルーリボンをつけてる人が、非常に少なくなってきました。岸田総理は、救出運動のシンボルであるブルーリボンの着用を初めて決議に盛り込んだということです。全国の議員や多くの国民に着用を求めるということで、花角知事も県民に広く呼びかけていくということです。

総理も知事も、大体、大臣あたりの記者会見等を見ると、ほとんどの人がブルーリボンつけてますよね。最近ちょっと糸魚川の中では見えなくなってきましたが、やはり今後、行政が中心になって、解決に向けた活動を進めていくには、ブルーリボンの着用ももう少し皆さんにお願いしていくというのも一つの方法ではないかなというふうに思っていますが、いかがでしょうか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

来年度、パネル展やら上映やらということで、今計画をしているということでお答えしております。そういった中で、関連づけた活動の中でブルーリボンというものの周知・啓発にも努めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

よろしくをお願いします。今日も、市長もブルーリボンをしっかりつけていただいております。大変うれしいなというふうに思ってます。

もう一点ちょっと、最後に聞きたいんですが、DVDなんですけど、ダビングするとか、ある程度の数をもらって、各公民館に置くか、回しで見るということはできないんですよね。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

DVDのダビングというところにつきましては、こういった教材という性格上、そういったことは、恐らくでありますけれども、望ましいものではないというふうに考えております。

ただ、公民館等に配付して、見ていただくというところは、これは一つの手法としては効果的なものだと思いますので、そういったDVDの手配、購入、配付等が行える状況にあるのかも含めて、少し研究させていただきたいと思っております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

やっぱり早く、拉致被害、これ解決しないと、横田 滋さん、87歳でお亡くなりになりました。どんどんと親が亡くなっていってしまいます。一日でも早い解決に向けて、糸魚川市としても力いっぱい頑張りたいというふうに思っております。

次に、新エネルギービジョンについて伺います。

1回目の質問でもお話ししましたが、旧能生町時代には2基の風力発電がありました。マリンドリームは、もう老朽化して、壊さなきゃいけないということで、市長はあ那时候、随分残念がって、

シンボルだということではなかなか壊したくなかったようですが、危ないということでしょうがなく。徳合は、強風により、上からの吹き上げる風により、羽が破損したということで、羽根だけ外してあります。現在は、もう風力発電は糸魚川市内にはないわけですが。

この糸魚川というところは、豊富な水や海上から風力、太陽光発電の設置の適地など、恵まれた地形がたくさんあります。既にある程度の調査が終わっていると思うんですが、民間企業への情報提供も行いながら、一生懸命開発に今、糸魚川市として取り組んでるわけですが、市や地域へのメリットにもなるような情報戦略を持ちながら情報提供をしているのかどうか、その辺をお伺いいたします。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

当市において、新エネルギーの取組につきまして、おいでいただく、参入されたいという事業者の方々の窓口として、当課が対応しております。

その中では、国などの許認可等々、いろんな内容がありますが、地域の同意を得ることという項目もあります。そういった中で、売電収益の還元や防災面など、市や、もちろん地域のメリットにもなるようなことを私どものほうからも提案させていただき、そういった地域への働きかけというところもお伝えしながら対応しているという状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

情報提供だけじゃなくて、やはりメリットにつながるような情報提供もしていく必要があると思います。

過去には、能生の場合、ハード事業も町でやってきました。これからは、民間の活力を利用してやっていくのがいいんだろうというふうに思いますし、市とすればソフト面の支援をしっかりとやっていくということだと思えます。それから情報提供することによって、市外の民間企業から糸魚川市に来ていただくことができると思いますが、糸魚川市として、そういう人たちが来たときに、どのような支援策があるのか。何か支援策があれば、伺いたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

今、私どものほうでは、議員おっしゃるとおり、財政的な面でのそういった支援等は行っておりません。その中でもしっかりと窓口を環境生活課と定めて、先ほど申し上げたとおりいろんなご相談やら情報提供を行わせていただいているというところでもあります。関係する関係機関等々にもそういったものでつなげていくというところが、しっかりと寄り添った対応というのが必要かと思っておりますので、今後もこういった形の中で進めていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

水力発電が、随分、力を入れて進んでおりますが、建設に向けた調査が、もうどんどん進んでますよね。今大体、糸魚川市の中で何か所ぐらい、もう建設に向けた調査が進んでいるのか。実際に建設しようとしている調査、その進捗率も分かれば教えていただきたいと思います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

具体的に整備というところで進んでいるのは、現在、能生地域の柵口地区の湯沢川で、かなりの進捗が進められているということでございます。

ほかには、4つの河川で4事業者が水量調査等の現地調査を行っているという状況であります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

2月3日の日に、中小水力発電の懇談会があって、企業や個人の方もたくさん来ていましたが、民間から見ると、中小水力発電ということで、個人でも安価でできるのではないかなというような感覚を持つてる人が結構いたんですよね。あのときの事例を聞くと、数億単位というような、そんなような工事費がかかるという話だったんで、ちょっと民間では難しいのかなというような感じだったんですけど。頑張れば個人でもできるんだというような、そういう説明がなかったんですが、このエネルギービジョンを見ると、個人でやるとる小さいやつも出てるんですけど、こういったもので、もう少し先進地事例というのは、あるのかどうか、伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

議員の今言われました懇談会につきましては、やはり今回につきましては、主に売電をして、それによって地域の活性化につなげていきたいという狙いの下で開催したということでありまして。そのために、どうしても事業規模が大きくなったということでありまして。

今、議員のご紹介にありました内容につきましては、私どもも必要な事案だと思っております。事例についてもありますので、これからもう一度しっかりと、そういった情報収集に努めまして、改めてご紹介をしていきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

私もその懇談会には出てたんですけど、残念ながら終わった後にちょっと気がついたんですけど、端っこのように小っちゃく、ミニ水力やマイクロ水力というのが書いてあったんですよ。だから、できればもう少しその辺のことの説明があればよかったのかなという、今、課長が言われたみたいに、そういうところの説明会じゃなかったということなので、しょうがないでしょうけど、今後そういうものに対する補助制度や、ミニ水力、マイクロ水力のそういう事例を、また新たにやるというのも大変なんで、できれば委員会何かで説明していただければなというふうに思うんですけど、いかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えの内容につきましては、今後、正副委員長とお話しさせていただきながら、私どものほうも引き続き情報収集に努めて、ご紹介いただける機会があれば、そのようにさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

今、市の動きを見ると、どっちかという水力発電に力を入れてるという感じがしないでもないですよ。今後、太陽光発電や風力発電についても、情報提供をどんどんしていかないといけないというふうに思ってるんですよ。だから、水力発電に対しての企業は来てますけど、太陽光や風力発電、そういった市への相談みたいなものは、あるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

太陽光、風力につきましては、市として推進してないということでもなく、相談を受け付けないということではありませんが、現在のところは、私どものほうで、そういった動きがあるよという部分につきましては1件というところで、今、企業の意向、構想段階ということだと思っておりますけども、そういった情報は頂いております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

第2次糸魚川市新エネルギービジョンの中にも、水力だけじゃなくて太陽光も風力もみんな入ってますからね、当然やってなると思うんですけど、糸魚川市の場合は、海岸沿いは風が強く、積雪のないところがたくさんあるんですよ。そうすると、太陽光とか風力の適地でもあるというふ

うに思ってるんですが、例えば能生でいえば、徳合、太平寺、それから鬼伏、ああいうところが、地主がいますから、そういうところがあるというだけで聞いていただければいいんですけど。高台で平なところがあるわけですが、そういうところが、私、適地だと思うんですが、そういうところの調査とか、そういうものはしたことあるんですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

お答えします。

市として、そういったところの適地調査というものは、行っておりません。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

民間の場所なんで、勝手に調査なんてわけにいかないから、もう少し、そういうところがあるぐらいいいことは、覚えてもらいたいかなというふうに思いますけど、そういう広い土地があってもなかなか、今もうそういうところ結構荒れてきてますね。耕作放棄地だとしても、農振除外に大変時間がかかると。そして、その後、農地転用、これも非常に時間がかかる。何年もかかるんですよ。これは市と県の連携不足のためではないかなというふうに、私は思っています。もう少し手続が、速やかに進めることはできないんでしょうかね。その辺はいかがですか。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

今、議員のほうから言われました農振除外や農地転用という部分につきましては、農業の優良農地の保全という視点から、通常、あえて高いハードルを許認可ということで掲げているんだろうなということでございます。

そうは言いながらも、少しお話の中にありました耕作放棄地というところの現状等々を見ますと、県と情報共有、連携を取るところもあるんだろうというふうには考えておりますので、今後もそういった事務手続、適地、場所等々を含めまして、なるべくスムーズに手続が進むような形で、私どものほうとしましても、取り組んでまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

これは自然エネルギー開発だけではなくて、住宅もそうですよね。住宅を建てるとなると、今と同じ手続を踏んでくわけですが、困ってるのは小さい大工さんなんですよ。新築の契約をしたところで、手続がうまくいかないと。施主も借入れを起こした、引っ越しの日にも決めた。だけど

半年も先いってしまう。そうすると大工さんも次の仕事が取れないわけです。新築一戸を目の前に抱えてる。そういう困ってる面もあるんですね。そういうのも併せて、県とよく打合せをしていく必要があると思います。

今、私のあれで、数年前に能生地域でも太陽光発電を計画して、地元の人たちとも話がまとまって、農地転用にかかったんですけど、時間がかかり過ぎて、それでやめちゃったというのが。今また、新たにそこに太陽光発電をやりたいという人が来てるわけですね。これ何とか順調にいくように、もう少し進めることはできないんでしょうかね、そういう事例を踏まえて。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

私ども先ほど申し上げましたとおり、担当窓口として、そういったところをしっかりと、なるべくスムーズに進むように、今後も調整等々、関係機関との調整等でしっかり詰めていきたいというふうに考えております。

ただ、そういった計画段階で申請者の方々に対しても、やはりそういった事前の期間がかかるであろう、そういったところもしっかりお伝えしていかないと、やはり議員の言われるような先行して動いたけども、後から許認可がついてこないというところも生じていると思っておりますので、そういったところもしっかりと対応してまいりたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

新潟市のホームページを見ますと、新潟雪国型メガソーラー発電所、もう雪が降っても、雪が積もりゃ駄目なんですけどね、そういう太陽光発電もできるというようなことであります。

また、もう既に日本各地でやってるんですけど、自治体新電力事業、糸魚川市でもこれから進めようとしています、どのように進めていく予定なのか伺います。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

当面、私どもとしましては、来年度、自治体新電力に対しての可能性調査を実施したいというふうに考えております。事業スキームであったり事業の採算性であったり、例えば公共施設等の電力の需要調査であったり、そういったものをしっかりと整理して、判断していきたいということでございます。

この可能性調査で事業採算性などがあると判断できれば、今後は会社設立に向けて、パートナー事業者の選定などを行って、進めていきたいという計画でおります。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

もう既に、新潟市では進めていますよね。新潟市の場合は、市が10%の出資ということで、ある程度のことは分かるんですが、こういう大手がもう既に糸魚川市にも参入しようとしておりますね。これから、こういう人たちに飲み込まれないように、糸魚川市独自のしっかりした計画を立てて、早めに動かないと、そういうところがどんどんと参入してくると。この会社は、資産電源を募集しております。どこへでも行きますよみたいなことを書いてありますよ。だから、今後、知事も脱酸素に向けて、やる気のあるところには力を入れてくということも言っておりますので、ぜひ新年度に入りましたら、県のほうに出向きまして、早く手続が進むように、地元企業へも早く手を挙げてということができるように進めていただきたいと思うんですが、県のほうへ行ってどうですか、新年度。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

猪又環境生活課長。〔環境生活課長 猪又悦朗君登壇〕

○環境生活課長（猪又悦朗君）

私ども当面の窓口としては、地域振興局のほうの窓口になっておりますので、まずはそちらのほうにお伺いして、現状等々、協議を進めていきたいというふうに考えております。なかなか先ほど言ったように、農地という部分があると、あえて高いハードルというところもございますので、樂觀視はできないということではありますが、私どもとしての姿勢をしっかりと話しさせていただきたいというふうに考えております。

〔「議長」と呼ぶ者あり〕

○議長（松尾徹郎君）

中村議員。

○15番（中村 実君）

糸魚川市も今、クリーンエネルギーに向けて、一生懸命動いておりますので、ぜひ糸魚川市、ジオパークの里でクリーンエネルギーを発電できるような地域にしていただければなというふうに思っております。せっかく水力発電やろうという業者がいたんですが、残念ながら糸魚川では、空いたところがないということで妙高市のほうへ、もう既に向いてって、妙高市でやりたいという話もされております。

ぜひ水力だけではなくて、これから風力、それから太陽光、また洋上風力、海は50キロありますので、洋上風力にも着手できるのではないかなというふうに思っておりますので、いろんな機会を捉えてやっていただきたいというふうに思います。

以上で、私の質問を終わります。

○議長（松尾徹郎君）

以上で、中村議員の質問が終わりました。

ここで、暫時休憩いたします。再開を11時5分といたします。

〈午前11時00分 休憩〉